

公民館講座 1年間の成果を披露

令和6年度公民館講座閉講式

2月23日（日）に第46回大和村公民館講座合同閉講式及び講座発表会が村防災センターで開催されました。

今回開催された講座は20講座。それぞれの講座を受講された講座受講生へ修了証及び精勤賞の授与があり、受講生を代表して、大和浜在住の濱田吉久さん、かおりさん夫妻に授与されました。

また、読書賞授与もあり、各学校の代表者に授与されました。（以下代表者）

今里小：長谷川 海渡さん
名音小：重田 浩輔さん
大棚小：徳 雷汰さん
大和小：南 優聖さん
大和中：岡本 暢海さん



作品展示コーナーでは、ガーデニングから手工芸まで13講座のすばらしい作品の展示がありました。また、舞台発表では、大和村11集落学から三味線・島唄教室まで7講座の発表がありました。

舞踊



フラダンス

講座生の皆さんが1年間充実した活動を行ってきたことが分かる展示や発表は、見ている方々に大きな感動を与えていました。

講座生の皆さん、ありがとうございました。



大和村11集落学



公民館長からのお知らせ

令和7年度の公民館講座の申し込み開始！

新年度の公民館講座の申し込み受付を3月17日（月）～4月11日（金）の期間で行います。

詳しい内容につきましては、村中央公民館 57-2311までお問合せください。

学芸員の大和村 あまくま訪ね歩き



カネク地名とイフ地名

奄美群島から琉球諸島（沖縄県）にかけて、海岸沿いに「カネク」「イフ」という地名をみかけることができます。カネク地名は、大和村では、大金久集落の大字名称にみられ、大棚集落のアガンマ（池田）にハマガネク（浜金久）という小字があります。

カネクという地名の語源は明らかではありませんが、砂地の場所を意味する地名です。特に海砂が堆積した場所がカネクと呼ばれています。

イフ地名は、大和村では、大和浜集落の大和川河口部分にイフザキ（イフ崎）という地名があります。イフという地名の語源は、米粒を意味する古語「いひぼ」に由来し、琉球方言の母音o音からu音の音韻変化によりイフと発音されるようになったと考えられます。やはり砂地の場所を意味する地名ですが、海砂ではなく粗い川砂が堆積した場所がイフと呼ばれています。

名瀬の街は、新川の左側が金久、右側が伊津部と呼ばれていますが、海砂が堆積したカネク地名、川砂が堆積したイフ地名が左右に並んで分布しています。地名は、自然地形をよく表している文化遺産です。

大和浜の集落



毎月19日は『育児の日』
第3土曜日は『青少年育成の日』
第3日曜日は『家庭の日』

